

2019年6月28日

### 「お客さま本位の業務運営に関する取組状況」の公表について

株式会社広島銀行(頭取 部谷 俊雄)では、お客さまの資産形成・運用関連業務における、お客さま本位の業務運営の一層の徹底を図るため、2017年6月に「〈ひろぎん〉のお客さま本位の業務運営の実践に向けた取組方針」を制定し、本方針の取組状況をお客さまに分かりやすくご確認いただけるよう、具体的な指標等を定期的に公表しております。

このたび、当行では2019年3月末時点における「お客さま本位の業務運営に関する取組状況(自主的なKPI: 8項目及び共通KPI: 3項目)」を公表します。

| KPI選定の視点   |  | 具体的な指標(KPI)   |
|--|--|---|
| <b>□</b> お客さまの最善の利益の追求<br><br>✓ お客さまの視点に立った販売姿勢<br><br>✓ 付加価値の高い商品・サービスの提供 | (1) 高度な専門性を有する人材の育成                                | ① FP資格取得者数  |
|  | (2) 投資教育の充実  | ② お客さま向けセミナー開催件数  |
|  | (3) お客さまの資産形成に資するポートフォリオ提案の実践<br><br>長期・積立・分散投資の促進 | ③ 投信販売額上位商品<br>④ 投信残高におけるコア商品比率<br>⑤ 毎月分配型以外の投信販売比率                   |
|  |  | ⑥ 積立投信契約者数・振替額<br>⑦ 投信販売に占める積立投信割合                                    |
| <b>共通KPI</b><br>(4) お客さまの運用成果に関する指標  |  | ⑧ 運用損益別顧客比率<br>⑨ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン<br>⑩ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン |
| <b>□</b> 取組の結果として当行の中長期的な企業価値の増大   | (5) 顧客基盤の拡充<br>・お客さまの裾野拡大<br>・残高の増加                | ⑪ 金融商品保有者数・残高   |

広島銀行は今後も、お客さまの利益を最優先に考え、付加価値の高い商品・サービスの提供に努めてまいります。

【お客さま本位の業務運営に関する取組状況について】

[http://www.hirogin.co.jp/rules/pdf/kokyaku\\_honi\\_kpi.pdf](http://www.hirogin.co.jp/rules/pdf/kokyaku_honi_kpi.pdf)

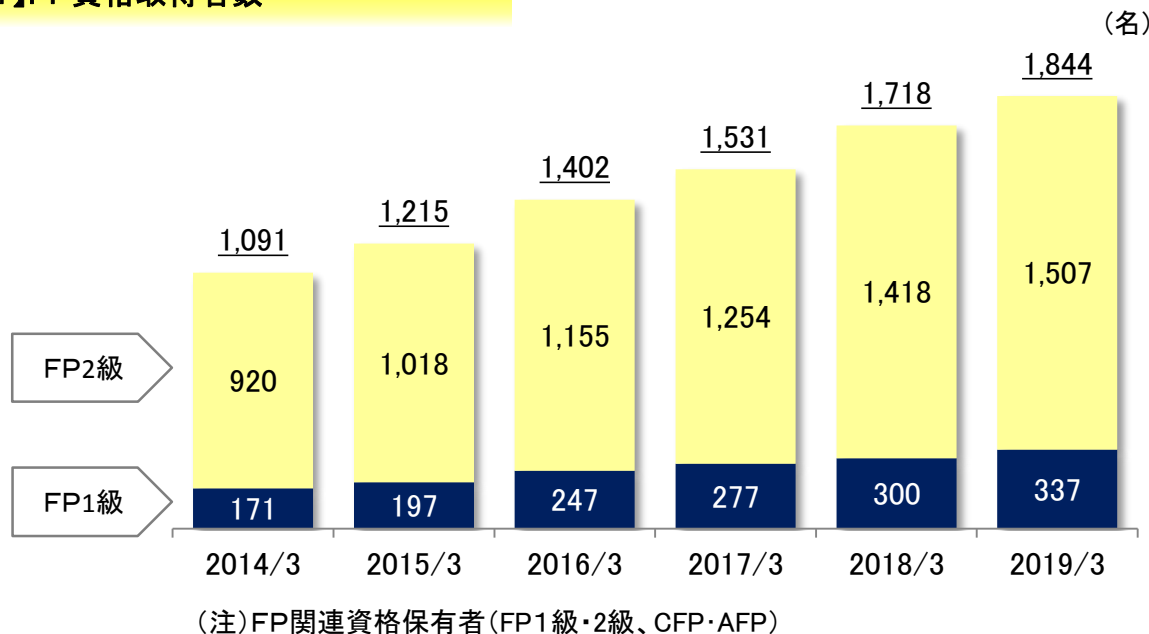
本件に関するお問い合わせ先  
 株式会社広島銀行 アセットマネジメント部  
 TEL (082) 247-5151 (代表)

## 【お客さま本位の業務運営に関する取組状況】

### (1) 高度な専門性を有する人材の育成

- FP資格保有者数は順調に拡大しており、専門性の高度化に向けた取組みを強化しております。  
【図1】

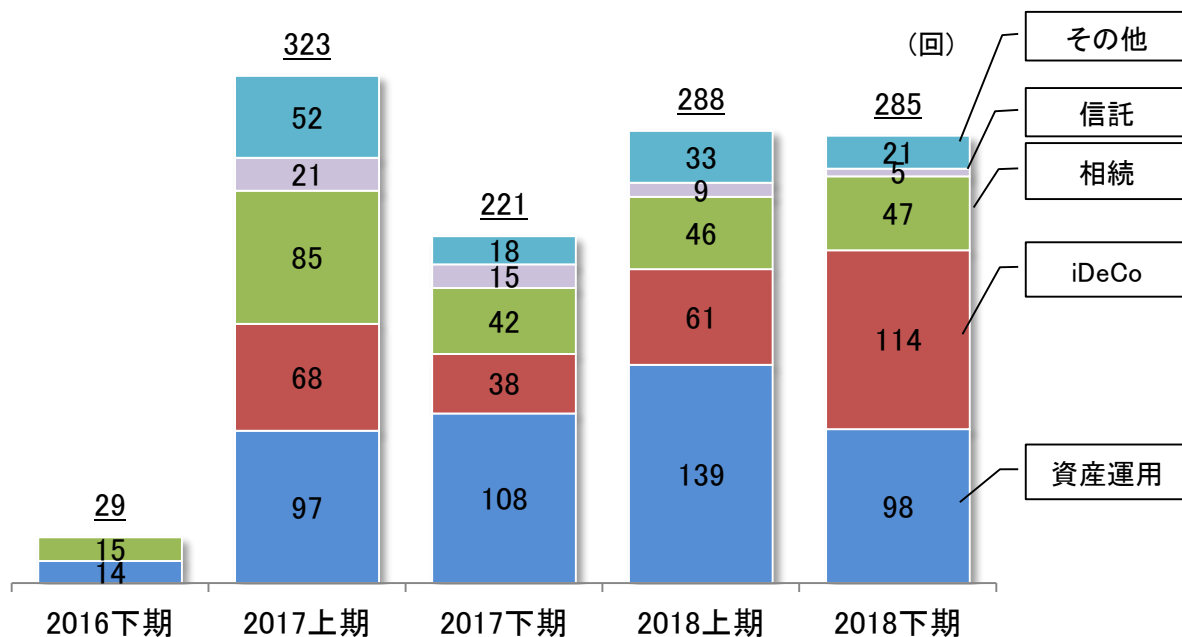
【図1】FP資格取得者数



### (2) 投資教育の充実

- 資産運用、iDeCo、相続等のお客さまセミナーを積極的に開催し、各種情報提供に努めております。  
【図2】

【図2】お客さま向けセミナー開催回数



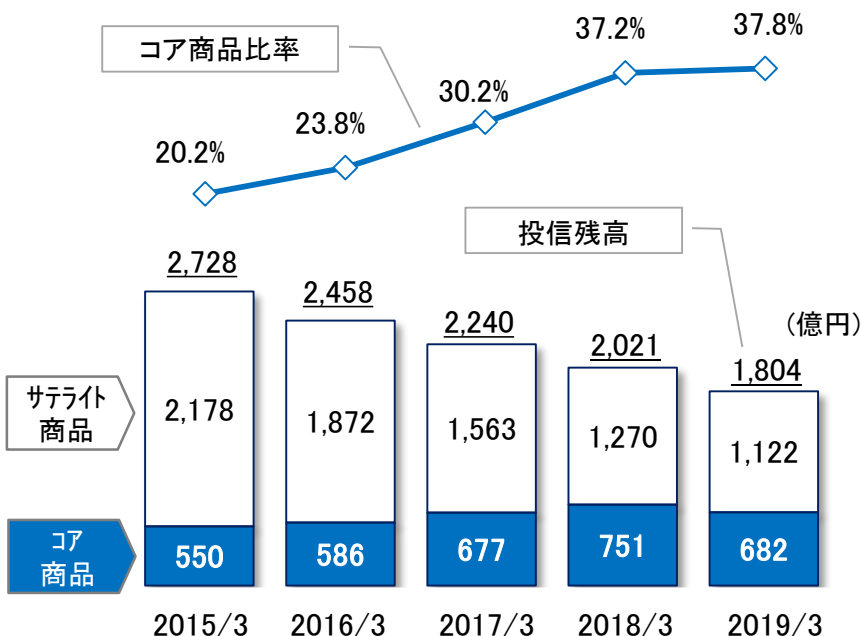
### (3)お客様の資産形成に資するポートフォリオ提案の実践

- 投信の販売にあたっては、長期保有に適した低リスク型の商品を中心にご提案しており、販売額はバランス型のコア商品が上位を占めております。【図3】
- 投信残高におけるコア商品残高は横ばいであるものの、コア商品比率については増加しております。【図4】

【図3】2018年度投信販売額上位商品(10銘柄)

| 順位 | 商品名                       | 商品<br>カテゴリー | 手数料<br>料率<br>(%) | 件数     | 金額(億円)  |       | コア商品<br>区分 |  |
|----|---------------------------|-------------|------------------|--------|---------|-------|------------|--|
|    |                           |             |                  |        |         | 比率    |            |  |
| 1  | ハイパー・ウェーブ                 | 国内株式        | 2.16             | 4,758  | 66.4    | 20.6% | サテライト      |  |
| 2  | 日興インデックスファンド225           | 国内株式        | 2.16             | 50,481 | 47.7    | 14.8% | サテライト      |  |
| 3  | 東京海上・円資産バランスファンド(毎月)      | バランス        | 1.62             | 15,560 | 46.8    | 14.5% | コア         |  |
| 4  | ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド  | バランス        | 1.62             | 290    | 29.9    | 9.3%  | コア         |  |
| 5  | 日本トレンド・マネーポートフォリオ         | 国内債券        | 0.00             | 759    | 29.4    | 9.1%  | サテライト      |  |
| 6  | ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド(毎月)  | バランス        | 2.16             | 11,734 | 28.2    | 8.8%  | コア         |  |
| 7  | 【インターネット専用】日経225ノーロードオープン | 国内株式        | 0.00             | 5,180  | 23.7    | 7.4%  | サテライト      |  |
| 8  | フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド    | 国内REIT      | 2.16             | 3,381  | 19.2    | 6.0%  | サテライト      |  |
| 9  | ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月)  | 海外株式        | 3.24             | 2,588  | 15.9    | 4.9%  | サテライト      |  |
| 10 | 東京海上・円資産バランスファンド(年1回)     | バランス        | 1.62             | 5,734  | 14.8    | 4.6%  | コア         |  |
|    |                           |             |                  |        | 100,465 | 322.0 | 100.0%     |  |

【図4】投信残高におけるコア商品比率



〈コア・サテライト商品の定義〉

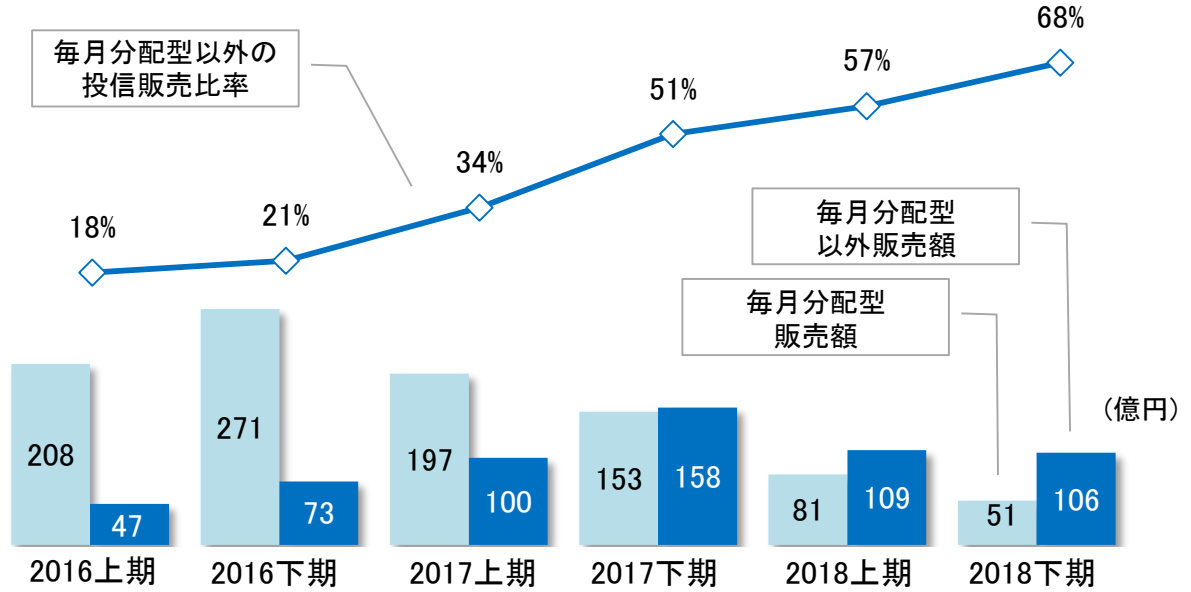
| 区分    | 定義(商品性)   | 商品数 |
|-------|---|-----|
| コア    | 長期保有に適した低リスク型(標準偏差10程度もしくはそれ以下)の商品                    | 30  |
| サテライト | 株式等の特定の資産を投資対象とし、ある程度のリスク(標準偏差10以上)を取りつつ、より高い収益を目指す商品 | 86  |

※商品数は、窓口取扱の商品(専用F除く)

### (3)お客様の資産形成に資するポートフォリオ提案の実践

- お客様の投資目的やリスク許容度等を踏まえる中、商品のご提案にあたっては、リスクとリターンとの関係や投資信託の複利効果等の説明を丁寧に行っており、毎月分配型以外の投信販売比率は増加しております。【図5】

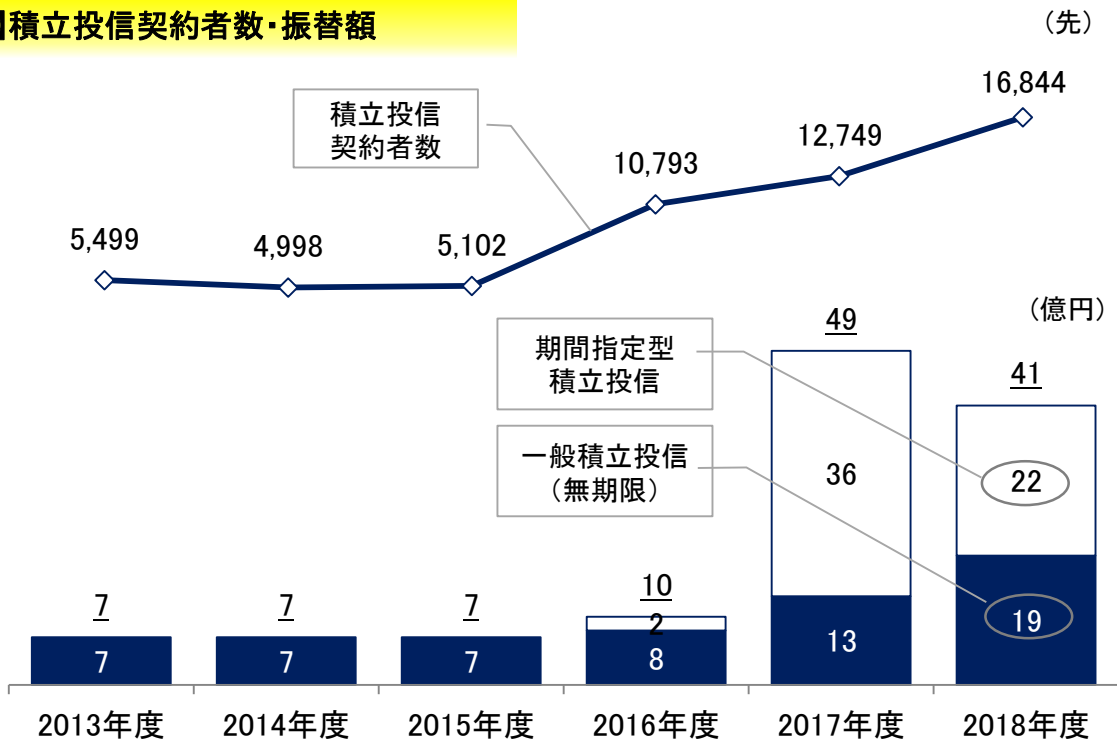
【図5】毎月分配型以外の投信販売比率



### (3)お客様の資産形成に資するポートフォリオ提案の実践(長期・積立・分散投資の促進)

- 資産形成への積立投信推進強化により契約者数、積立投信振替額(無期限タイプ)は着実に増加しております。【図6】

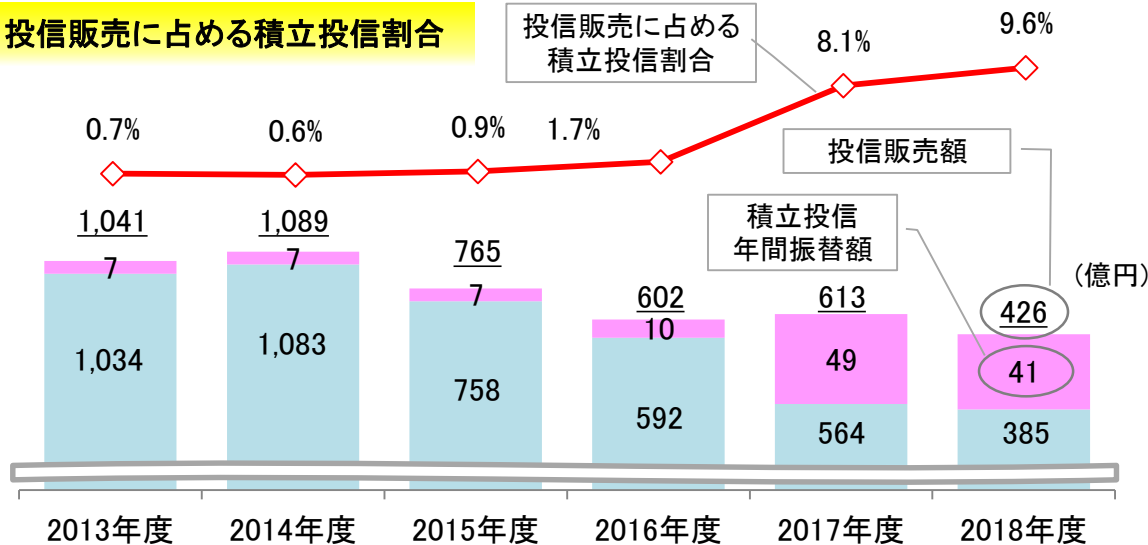
【図6】積立投信契約者数・振替額



### (3) お客さまの資産形成に資するポートフォリオ提案の実践(長期・積立・分散投資の促進)

- 投信販売額全体が低調に推移する中、安定的な積立投信の買付により、投信販売に占める積立投信割合は上昇しております。【図7】

【図7】投信販売に占める積立投信割合

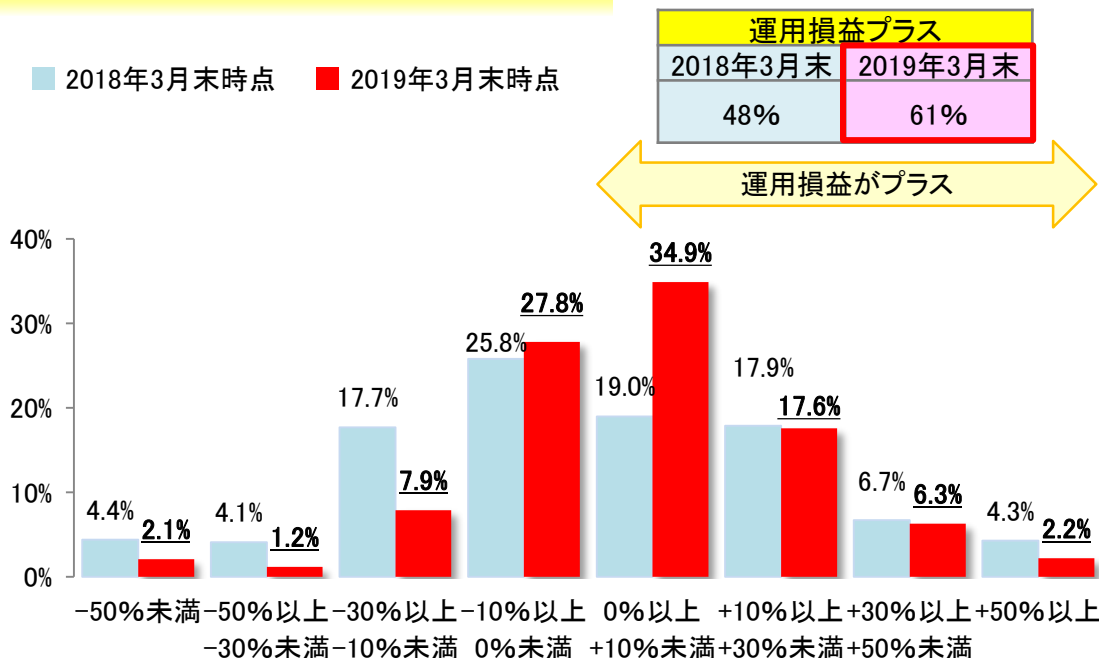


### 【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】

#### (4) お客さまの運用成果に関する指標

- お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益区分ごとのお客さま割合をお示しております。
- 2019年3月末時点で投資信託を保有中のお客さまのうち、運用損益がプラスのお客さまは全体の61%となっております。【図8】

【図8】投資信託運用損益別顧客比率<sup>1</sup> [共通KPI]



(注) 1. 2018年3月末時点、2019年3月末時点で投資信託残高を保有している個人。運用損益別顧客比率計算上の分母は、時価評価額。

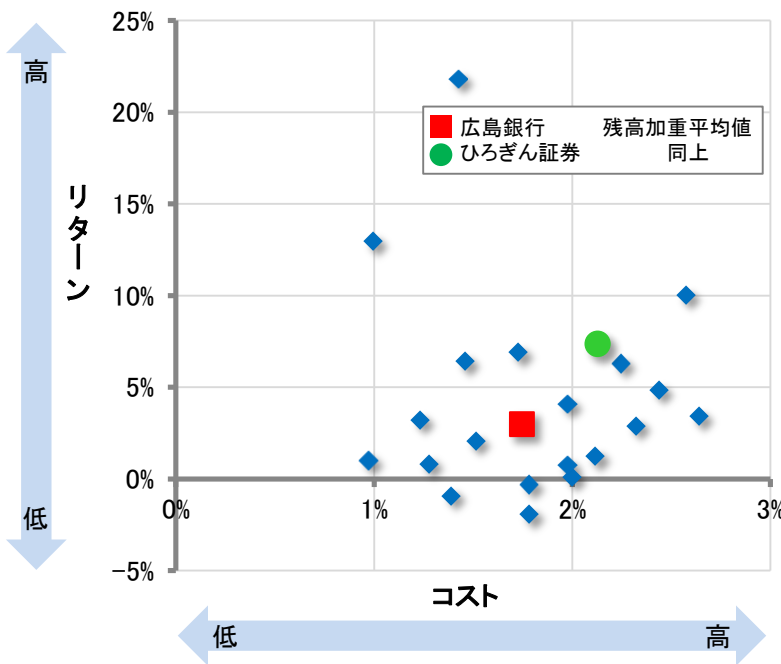
# 《投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI》

## (4) お客さまの運用成果に関する指標

- お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストやリスクに対するリターンをお示しております。【図9】【図10】
- なお、ひろぎんグループは、広島銀行とひろぎん証券が連携して、お客さまの多様なニーズにお応えしていく体制を構築しております。【図11】
  - 広島銀行は、積立投信や長期保有に適した低リスク型投信を中心に提案を行っております。
  - ひろぎん証券は、リスク・リターンの高いテーマ型投信等、お客さまのリスク許容度に応じて提案を行っております。

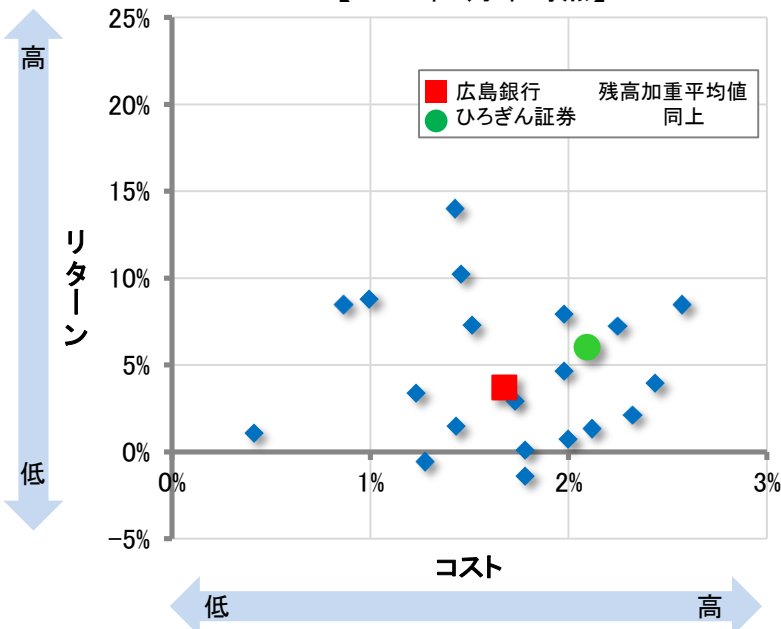
【図9】投資信託の預り残高上位20銘柄<sup>2</sup>のコスト・リターン<sup>3</sup>【共通KPI】

【2018年3月末時点】



| 銘柄名                            | コスト   | リターン   |
|--------------------------------|-------|--------|
| 1 ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド         | 2.12% | 1.24%  |
| 2 東京海上・円資産バランスファンド(毎月)         | 1.23% | 3.22%  |
| 3 LM・オーストラリア毎月分配型ファンド          | 1.78% | -0.30% |
| 4 GS 米国REITファンド Bコース           | 1.98% | 4.09%  |
| 5 BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月)   | 2.00% | 0.12%  |
| 6 ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月)         | 1.78% | -1.92% |
| 7 LM・グローバル・プラス(毎月)             | 1.73% | 6.90%  |
| 8 日興インデックスファンド225              | 0.99% | 12.96% |
| 9 ダイワ日本国債ファンド(毎月)              | 0.97% | 1.00%  |
| 10 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月)    | 2.44% | 4.84%  |
| 11 パインブリッジ世界国債インカムオープン(毎月)     | 1.27% | 0.83%  |
| 12 DIAM J-REITアクティブファンド(毎月)    | 1.51% | 2.07%  |
| 13 フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド      | 1.46% | 6.42%  |
| 14 ハイパー・ウェイブ                   | 1.43% | 21.80% |
| 15 GS 米国REITファンド Aコース          | 1.98% | 0.75%  |
| 16 DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月)  | 2.25% | 6.29%  |
| 17 世界のサイフ                      | 1.39% | -0.92% |
| 18 イーストスプリング・インド株式オープン         | 2.57% | 10.03% |
| 19 HSBCブラジル債券オープン(毎月)          | 2.32% | 2.91%  |
| 20 【インターネット専用】ピクテ新興国インカム株式ファンド | 2.64% | 3.42%  |
| 残高加重平均値                        | 1.75% | 2.97%  |

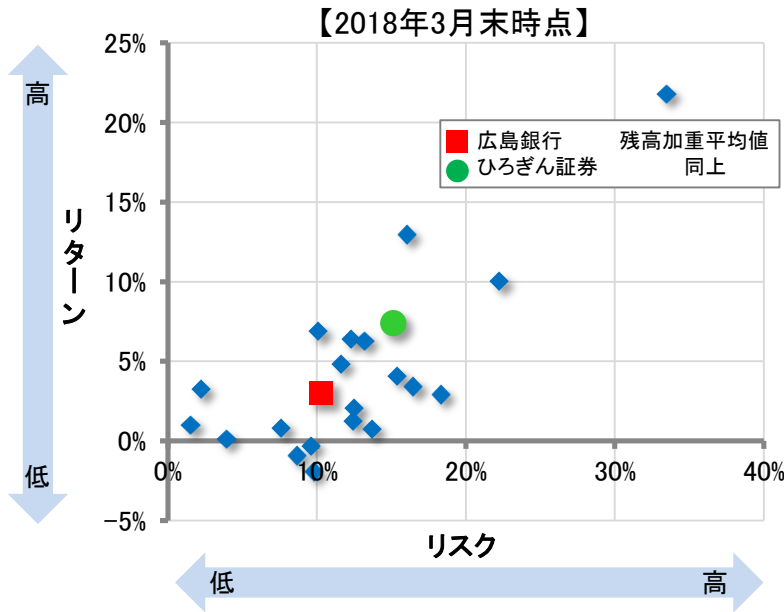
【2019年3月末時点】



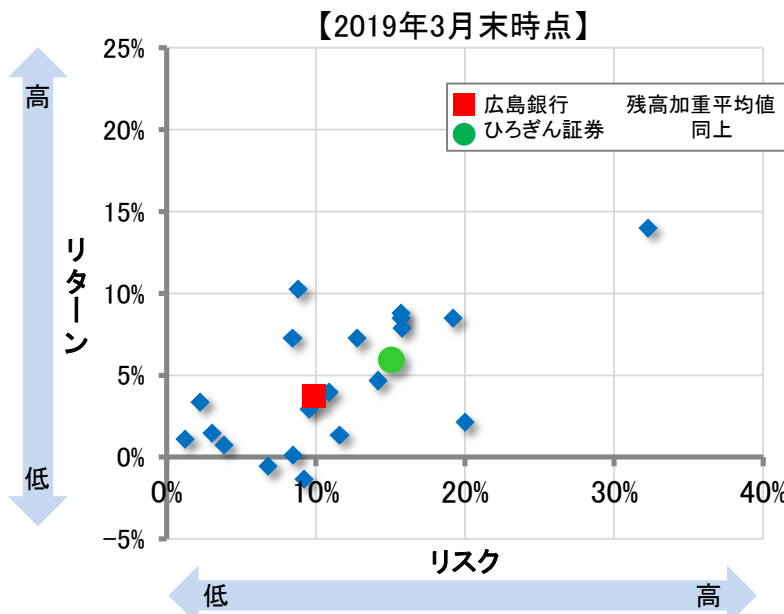
| 銘柄名                     | コスト   | リターン   |
|-------------------------|-------|--------|
| 1 東京海上・円資産バランスファンド(毎月)  | 1.23% | 3.38%  |
| 2 ニッセイオーストラリア利回り資産(毎月)  | 2.12% | 1.35%  |
| 3 LM・オーストラリア毎月分配型ファンド   | 1.78% | 0.11%  |
| 4 GS 米国REITファンド Bコース    | 1.98% | 7.91%  |
| 5 LM・グローバル・プラス(毎月分配型)   | 1.73% | 2.94%  |
| 6 BAMワールドボンド&カレンシーF(毎月) | 2.00% | 0.76%  |
| 7 日興インデックスファンド225       | 0.99% | 8.82%  |
| 8 ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月)  | 1.78% | -1.37% |
| 9 ピクテグローバルインカム株式F(毎月)   | 2.44% | 3.95%  |
| 10 ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)   | 0.41% | 1.11%  |
| 11 ハイパー・ウェイブ            | 1.43% | 14.01% |
| 12 フィデリティ・Jリート・アクティブ・F  | 1.46% | 10.24% |
| 13 DIAM J-REITアクティブファンド | 1.51% | 7.29%  |
| 14 パインブリッジ世界国債インカム「毎月」  | 1.27% | -0.56% |
| 15 DIAMワールドリートアクティブファンド | 2.25% | 7.26%  |
| 16 ピクテ・マルチアセット・アロケーションF | 1.43% | 1.47%  |
| 17 GS 米国REITファンド Aコース   | 1.98% | 4.67%  |
| 18 イーストスプリング・インド株式オープン  | 2.57% | 8.49%  |
| 19 日経225ノーロードオープン       | 0.86% | 8.48%  |
| 20 HSBCブラジル債券オープン(毎月決算) | 2.32% | 2.14%  |
| 残高加重平均値                 | 1.68% | 3.69%  |

# 《投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI》

## 【図10】投資信託の預り残高上位20銘柄<sup>2</sup>のリスク・リターン<sup>3</sup> [共通KPI]



| 銘柄名                            | リスク    | リターン   |
|--------------------------------|--------|--------|
| 1 ニッセイオーストラリア利回り資産ファンド         | 12.53% | 1.24%  |
| 2 東京海上・円資産バランスファンド(毎月)         | 2.24%  | 3.22%  |
| 3 LM・オーストラリア毎月分配型ファンド          | 9.66%  | -0.30% |
| 4 GS 米国REITファンド Bコース           | 15.52% | 4.09%  |
| 5 BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月)   | 3.98%  | 0.12%  |
| 6 ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月)         | 9.85%  | -1.92% |
| 7 LM・グローバル・プラス(毎月)             | 10.15% | 6.90%  |
| 8 日興インデックスファンド225              | 16.18% | 12.96% |
| 9 ダイワ日本国債ファンド(毎月)              | 1.52%  | 1.00%  |
| 10 ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月)    | 11.70% | 4.84%  |
| 11 パインブリッジ世界国債インカムオープン(毎月)     | 7.67%  | 0.83%  |
| 12 DIAM J-REITアクティブファンド(毎月)    | 12.62% | 2.07%  |
| 13 フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド      | 12.42% | 6.42%  |
| 14 ハイパー・ウェイブ                   | 33.75% | 21.80% |
| 15 GS 米国REITファンド Aコース          | 13.79% | 0.75%  |
| 16 DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月)  | 13.30% | 6.29%  |
| 17 世界のサイフ                      | 8.73%  | -0.92% |
| 18 イーストスプリング・インド株式オープン         | 22.42% | 10.03% |
| 19 HSBCブラジル債券オープン(毎月)          | 18.49% | 2.91%  |
| 20 【インターネット専用】ピクテ新興国インカム株式ファンド | 16.60% | 3.42%  |
| 残高加重平均値                        | 10.41% | 2.97%  |



| 銘柄名                     | リスク    | リターン   |
|-------------------------|--------|--------|
| 1 東京海上・円資産バランスファンド(毎月)  | 2.25%  | 3.38%  |
| 2 ニッセイオーストラリア利回り資産(毎月)  | 11.58% | 1.35%  |
| 3 LM・オーストラリア毎月分配型ファンド   | 8.48%  | 0.11%  |
| 4 GS 米国REITファンド Bコース    | 15.75% | 7.91%  |
| 5 LM・グローバル・プラス(毎月分配型)   | 9.55%  | 2.94%  |
| 6 BAMワールドボンド&カレンシーF(毎月) | 3.84%  | 0.76%  |
| 7 日興インデックスファンド225       | 15.70% | 8.82%  |
| 8 ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月)  | 9.20%  | -1.37% |
| 9 ピクテグローバルインカム株式F(毎月)   | 10.85% | 3.95%  |
| 10 ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)   | 1.25%  | 1.11%  |
| 11 ハイパー・ウェイブ            | 32.27% | 14.01% |
| 12 フィデリティ・Jリート・アクティブ・F  | 8.81%  | 10.24% |
| 13 DIAM J-REITアクティブファンド | 8.43%  | 7.29%  |
| 14 パインブリッジ世界国債インカム「毎月」  | 6.80%  | -0.56% |
| 15 DIAMワールドリートアクティブファンド | 12.77% | 7.26%  |
| 16 ピクテ・マルチアセット・アロケーションF | 3.03%  | 1.47%  |
| 17 GS 米国REITファンド Aコース   | 14.13% | 4.67%  |
| 18 イーストスプリング・インド株式オープン  | 19.19% | 8.49%  |
| 19 日経225ノーロードオープン       | 15.72% | 8.48%  |
| 20 HSBCブラジル債券オープン(毎月決算) | 20.00% | 2.14%  |
| 残高加重平均値                 | 9.88%  | 3.69%  |

## 【図11】グループにおける商品ライナップの棲み分け

|                         | 広島銀行                           | ひろぎん証券              |
|-------------------------|--------------------------------|---------------------|
| (高) リスク/リターン<br>積極運用型商品 | ネット専用投信・積立専用投信については品揃えあり       | 株式、外国債券、仕組債、テーマ型投信等 |
| 安定運用型商品<br>(低)          | 円貨預金、公共債、外貨預金、積立投信、低リスク型投信、保険等 | 低リスク型投信等についても品揃えあり  |

(注)2. 2018年3月末時点、2019年度3月末時点で、設定期間5年を超えるファンドのみに限った投資信託の預り残高上位20銘柄

(注)3. コスト: 販売手数料/5+信託報酬率、リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

## (5) 顧客基盤の拡充(お客様の裾野拡大、残高の増加)

■ お客様本位の業務運営を実践することにより、金融商品保有者数・残高ともに順調に増加しております。【図12】

【図12】金融商品保有者数・残高

